

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



いよいよ今年最後の月になりましたね。

年頭に考えた予定通りに過ごせましたでしょうか？

もしも、未だやり残したことが

ある方は、ラストスパート・・・頑張りましょう！

これからは、お仲間との忘年会・クリスマスなど楽しいイベントが目白押し。

でもその前に、お歳暮・お年賀状・大掃除や

お正月の準備、等など終わらせなければなりませんね。

体調管理をしっかりと、有意義な時間をお過ごしください！



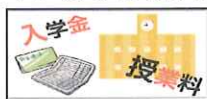
## 失敗事例から学ぶ家づくり成功の秘けつ！（3）

新たなテーマとして、家づくりの際に注意すべき大切なポイントを書かせていただいています。ご参考になれば幸いです。

### 【子供が私立高校に進学で、家計が火の車・・・】

高校までは、子どもを公立に通わせるつもりだったのだが、受験に失敗し私立高校へ進学することに・・・そんな事態を想定せずに、余裕のないローン返済額を設定してしまったら家計は火の車になる可能性も。更に、大学に進学したら教育費がもっとかさみます。その大学が地元ではなく、親元を離れ下宿生活をして通うかもしれません。この様に、子供が小さい内は先々の教育費を視野に入れて、家づくりを考えなければなりません。

子供の数が多ければなおさらです。



又、定年までローンはどうなっているでしょう。

定年以降にローン返済する目途はついていませんか？

今の雇用システムでは、60 歳以上になると収入が極端に減少することが予想されます。年金も十分支払ってもらえるかどうか、誰も想像できません。

65 歳になった時、支払った分のお金は年金として返ってくるのでしょうか？

住宅会社やお金を貸す金融機関の担当者は、こういった先のことには触れたがりません。

借り入れる人が 70 歳時にローンを支払い続ける計算になったとしても、金融機関はお金を貸してくれます。

借りる側も何とかかなという考えでローンを組むことが少なくありません。

かつて、右肩上がりに給料が増え続けた時代がありました。しかし、今の時代は給料が減ったりボーナスが無くなったりすることは決して珍しくありません。

会社が倒産してしまったり、リストラにあったりしてしまうという事態も起こりえます。

家づくりに無理は絶対禁物です。

家族との生活を大切にするためにも、将来かかる費用、起こりうる不測の事態を考え、5年・10年先を見据えた計画をしっかり立てましょう。

次回に続く



## 「冬至と柚子湯（ゆず湯）」

柚子＝融通がきく、冬至＝湯治といった語呂合わせから、冬至の日には柚子湯に入ると思われていますが、もともとは厄払いをするための禊（みそぎ）だと考えられています。昔は毎日入浴しませんから大切な儀式の前に身を清めるのも道理ですね。

冬が旬の柚子は香りも強く、強い香りのもとには邪気がおこらないという考えもありました。

又、柚子は実るまでに長い年月が掛かるので、長年の苦勞が実りますようにとの願いも込められています。もちろん、柚子湯には血行促進、風邪の予防、美肌効果があります。更に、芳香によるリラックス効果もありますから、元気に冬を越すためにも大いに役立ちます。

ちなみに今年の冬至は、12月22日です。温かい柚子湯でお疲れを癒してください。



## 感謝と返謝



私たちが日々生活する上で、必要とされるエネルギーの中で、最もパワフルな力を発揮するのは感謝の気持ちだと思います。

どんなことにも、感謝の気持ちをもって接すれば感謝の質が変わってきます。

生きていること

息をしていること・・・

感謝の対象は何でも構わないのですが、感謝の気持ちの大切さは、自分が満たされている時には、残念ながらなかなか判らないものです。

例えば、暖房の良く効いた部屋で、絹や羽毛のふとんに包まれ寝ていると、外の寒さに気付かなかつたり、子どもたちが恵まれた環境で育ち、次から次へと、欲しいものを与え続けられていると、それが当然と勘違いし、周囲に感謝する大切さが判らなくなってしまいます。

これとは別に、感謝にはもう一つ大切な意味があります。

それは、単にありがたいと思うだけではなく、その気持ちを、今度は誰かに返していくことによって感謝の心は完成するものなのです。

だから、「ありがたい、ありがたい・・・」と言って、いつも人からもらってばかりではダメなのです。

感謝して、本当にありがたいと思ったら、その感謝の気持ちを、何らかの形で社会に還元することが大切です。

同じ人に返さなくてもいいけれど、世間に必ず返すということです。

「感謝は返謝してこそ完成する」のです。

返謝の無い感謝は、ただもらうだけの人生になり、いつももらうことを期待してしまいます。

そして、もらえないと不満だけが残り、誰かを恨んだり憎んだり・・・

人に何かを与えるということは、人から返ってくることでもあるのです。

ただし、決してそのことを期待しなさいというわけではありません。

でも、人は与えられたら必ず返そう、返したいという気持ちを持っているものです。

ですから、どんなものでも自分が必要とする分だけもらい、後はどんどん人に返してあげる。良いことも嬉しいことも、自分一人でため込まず、みんなと分かち合うという気持ちが大切です。

そんな広～い心を養い、誰もが安心して暮らせるやさしい社会づくりを目指したいものですね。



### 「編集後記」

光陰矢の如し、今年もいよいよ残り少なくなりました。皆さんにとって、この1年は如何でしたか？ 私は、「師走」という言葉を聞くと、今更ながらと承知しつつも、1年を振り返り、つい反省ばかりが思い起こされます。あれもこれも・・・それでも周囲の方々に支えていただきながら、無事に年末を迎えられましたことは大きな喜びです。心より感謝申し上げます。街中では、美しいクリスマスのイルミネーションと一緒に、はや松飾りもちらほら見受けられ、新しい年ももうすぐそこまできているのを感じます。健康に留意され、ご家族お揃いで、どうぞよいお年をお迎えください！

この1年、お読みいただき有難うございました。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。

ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

渡辺ハウジング 社員一同